

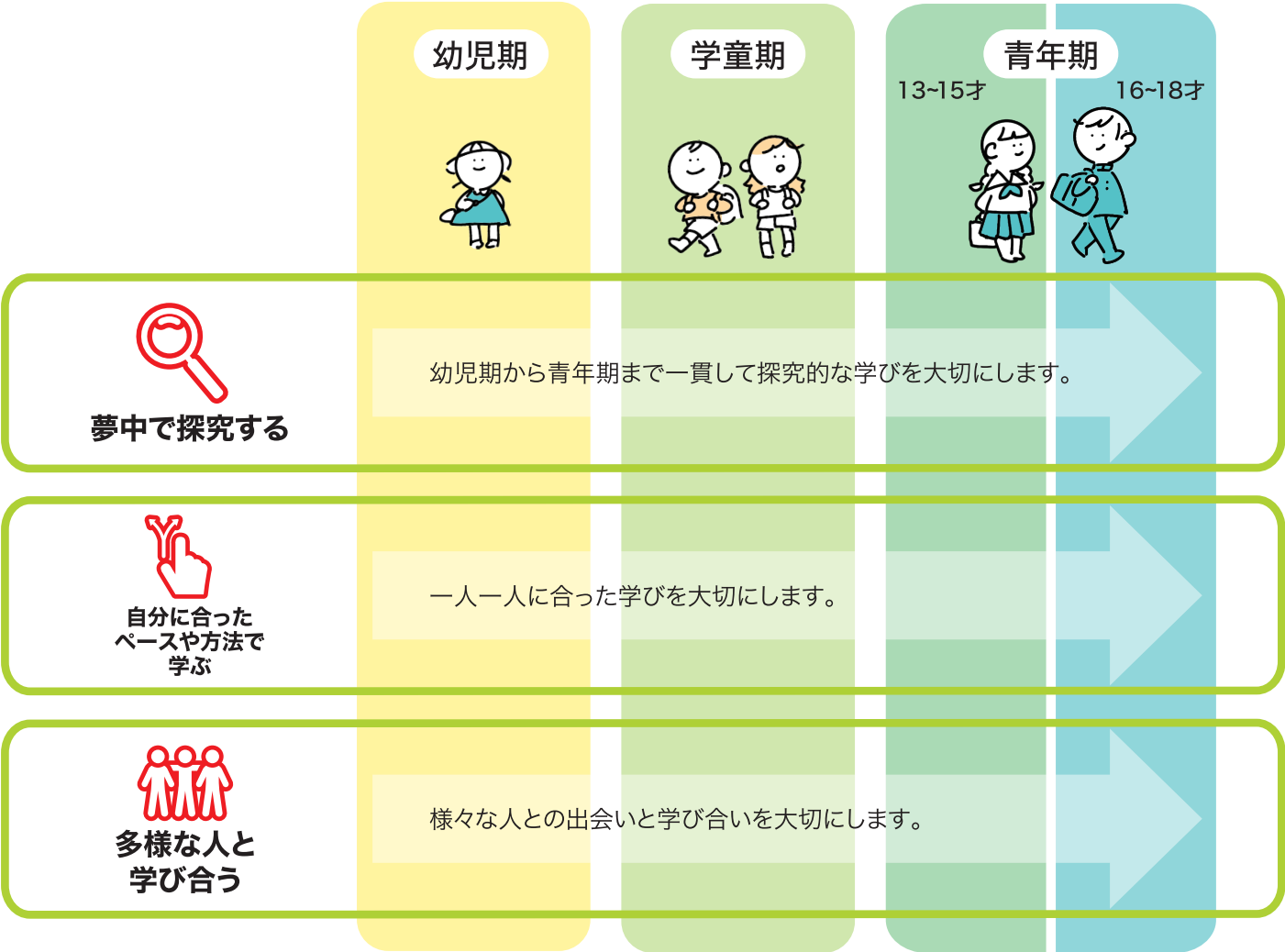
学校園の教育目標について 対話しましょう

学びのコンパスを参考にして、学校園の実態に合った
教育目標について全教職員で対話しましょう。



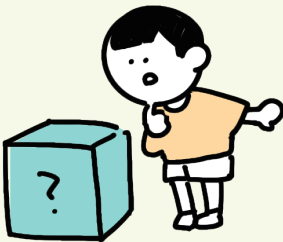
重視したい学びの姿 ~「子ども中心の学び」を全ての学校園で~

一人一人の成長過程に合わせて、3つの学びの姿を実現していきましょう。

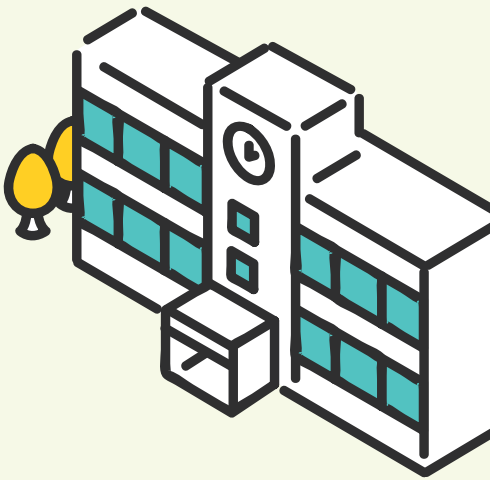


どの学校園でも 大人が大切にしたいこと

「子どもは有能な学び手」と理解し、尊重、対話、
チャレンジを大切にしながら、子どもの学びに伴走しましょう。



ナゴヤ 学びのコンパス



「学びのコンパス」は、名古屋市の全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに
生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものです。
自律して学び続ける子どもの育成を目指し、「子ども中心の学び」を幼児期から
青年期まで一貫して大切にしていきます。
名古屋市の学校園では、「ナゴヤ学びのコンパス」を基に、全ての教職員が対話を
重ねながら、それぞれの学校園や子どもたちの実態に合った教育について考え、
実践を進めていきます。

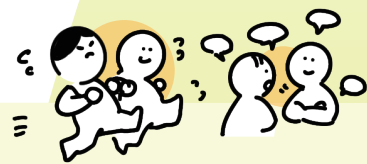


名古屋市教育委員会

※吹き出しの言葉は、名古屋市の小学生、中学生、高校生、およそ8,000人から、求めている学びについて聞き取ったものの一部です。

全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくために、
「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで
一貫して大切にします。

名古屋市の 学校教育を通じて 目指したい姿



どの学校園でも大人が大切にしたいこと

全ての子どもは、適切な環境とそれを支える仲間・大人に出会うことで、自ら学びを進め、深めていく存在であるという
意味で、「有能な学び手」であると言えます。
私たち大人は、子どもを「有能な学び手」であると信じ、
尊重・対話・チャレンジを大切にしながら、子どもの学びに伴走
していきます。

どの学校園でも 大人が大切にしたいこと 子どもは有能な学び手であると理解し、 子どもの学びに伴走する

子ども
一人一人の
思いや願いを
尊重する

子どもと
対話する

子どもの
自分なりの
チャレンジを
大事にする

実現したい市民の姿

自由な市民として
互いを認め合い、
共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の
中で自律して
学び続ける

重視したい学びの姿

自分に合った
ペースや
方法で学ぶ



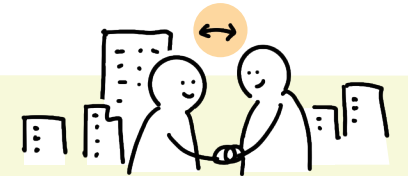
多様な人と
学び合う



夢中で
探究する



実現したい市民の姿



人は誰もが「自由」に、つまり、自分らしく生きたいように生きたい
と願っています。ここで掲げる「自由な市民」とは、**自分も他者
も全ての人の自由を尊重する市民**のことを指しています。
私たちは、未来を生きる子どもたちが、こうした「自由な市民」
として社会の創り手に成長していくことが、本市の学校園の教育
を通じて目指すべき姿であると考えています。

目指したい子どもの姿



子どもたちが必要に応じて、仲間や大人の力を借りたり、自分の
力を貸したりする「ゆるやかな協働性」のもとで一人一人が自律
して学び続けている姿が、目指したい子どもの姿です。

重視したい学びの姿



「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善の考え方に基づき
名古屋市の実践を踏まえて、大切にしたい三つの要素を取り
上げました。
これまでも、これからも大切にしたい姿です。

